

市長と語ろう市政ミーティング開催結果

開催日時 平成27年4月22日（水）午後7時30分から8時40分まで
会場 福祉健康センター 多目的ホール
出席者 参加者116人
（市側）市長、企画部長、政策推進課長、財務課長、総務部長、秘書課長
司会・記録 室長
オペレーター 主幹

◆市民憲章唱和

◆市長あいさつ及びDVD視聴・説明（当初予算・主要な施策の概要について）

◆市長説明や当初予算・主要な施策の概要に対する意見交換

Q1 <新庁舎建設について>

中心市街地活性化計画は、庁舎の建設位置が東から現在地に移ったため、計画期間がまだ3年ほど残されている中、見直しを行う。その場合、計画期間が平成28年までとなっている総合計画も併せて見直すべきだと思うが、なぜ、見直さないのか。総合計画の方が上位の計画である。

Q2 <市政ミーティングについて>

夜間に開催する市政ミーティングは、高齢者にとっては不便である。遠方の方は、夜は車に乗らない人もいる。昼間に、高齢者向けの市政ミーティングを開催すると、大勢人が集まるのではないか。

Q3 <福祉健康センターについて>

福祉健康センター4階フロアは、三木前市長が高齢者福祉施設として確保したスペースのはずが、現在はほとんど高齢者福祉と関係のない使われ方をしている。新庁舎には、この4階フロアの半分ほど（高齢者福祉とは関係のないもの？）が入るようにしてもらいたい。

A1・3 <新庁舎建設・福祉健康センターについて> 企画部長

総合計画（基本計画）については、新市建設計画の変更を昨年3月議会において議決をいただいたうえで、昨年7月に改定を行いました。その内容は、本庁舎は現在地に建て替え、今立総合支所は市東部のコミュニティ・防災機能を有する複合施設として建設すると

いうものです。

福祉健康センターについては、「市民の福祉及び健康の増進に寄与する施設」として、設置条例が定められており、高齢者専用の施設としての位置付けではないので、ご理解いただきたいと思います。

なお、現在、4階フロアを市執務室として利用している部分は、新庁舎に統合することで、行政機能をまとめていきたいと考えています。

A 2 <市政ミーティングについて> 総務部長

高齢者向け市政ミーティングの昼間の開催については、今後検討させていただきたいと思います。

Q 4 <新庁舎建設について>

総合計画（基本(長期)構想）は、見直さないのか。

A 4 <新庁舎建設について> 企画部長

総合計画は、基本構想と基本計画で構成されており、基本構想は施策の基本的な柱（5本の柱）を定めたもの、基本計画はその柱ごとに施策の具体的な方向性を定めたものです。よって、昨年7月に基本計画に示す施策の具体的な方向性について見直しを行ったものです。

また、地方自治法の改正により、市町村における総合計画の策定義務はなくなりました。しかし、本市では、市政の運営方針の必要性に鑑み、これまでの基本構想、基本計画を踏襲しながら、事業を推進しているところです。

Q 5 <新庁舎建設について>

一昨年に策定した「まちづくりビジョン」は、基本構想を反映させているものだと思うが、新庁舎の建設位置が決まったことで、どうなるのか。

A 5 <新庁舎建設について> 企画部長

平成24、25年の2カ年をかけ、「まちづくり懇話会」という組織を設置し、20年、30年先のまちづくりを見据えた議論を行い、「まちづくりビジョン」を策定しました。そして、このビジョンを踏まえ、新市建設計画の変更を行い、さらに、(総合計画)基本計画の中に、この新市建設計画を位置付ける改定を行いました。

Q 6 <新庁舎建設について>

平成28年度以降も、基本構想はつukらないということか。

A 6 <新庁舎建設について> 企画部長

基本構想については、平成28年度以降も引き継いでいこうと考えています。そのためにも、基本計画については、昨年改定をさせていただきました。

Q 7 <新庁舎建設について>

そのまま引き継ぐということか。

A 7 <新庁舎建設について> 企画部長

基本構想は、総合計画全体の体系（5本の柱）を定めるもので、この体系に基づき、具体的にどのような事業を行うかを定めるのが、基本計画です。その両方を合わせて、総合計画というのです。

Q 8 <新庁舎建設について>

それはわかっているが、基本構想は平成28年以降も、そのままさらに10年延ばすということか。

A 8 <新庁舎建設について> 企画部長

10年延ばすということではなく、現在のものを踏襲していきたいと考えています。

◆閉会